

家庭教育学級の手引き

家庭教育学級とは

- ・子育てやしつけについて学んだり悩みを話し合ったりする場
- ・家庭教育の在り方を学び、自らを振り返る場

家庭教育学級を構成する4者の役割

- ・**保護者**：学びの場への参加。仲間作り。
- ・**学校**：開設者。学校の方針の共通理解を図る。
- ・**公民館**：事業説明、企画運営支援
- ・**家庭教育学級生**：学びの場と内容を考える。保護者同士の交流の場を作り、親子のふれあいの場を作る。

家庭教育学級生とは

- ・ともに悩み、ともに考え、親として成長する心を忘れない
- ・子育てに関する話題を敏感に取り入れ、「学びのある」家庭教育学級運営を心がける。
- ・見通しを持ち、計画的に準備を進める。



門松作り（花園小学校）

家庭教育学級運営の手順

1 学習内容の設定

公民館、学校と相談しながら8つの柱の中から内容を設定します。

2 期日・日程の調整と決定

具体的な内容と形態、実施日を決めます。

3 会場の決定

公民館、学校、屋外など学習形態に応じた会場を予約します。

4 講師の選定と依頼、打ち合わせ

講師の内諾を取ってから講師依頼文を公民館に出してもらう。

5 開催案内の作成・配布（2か月前）

案内チラシの作成、SNS等での拡散

6 諸準備

参加人数把握、資料準備、会場設営等

7 当日の進行

司会や記録などの役割分担

8 感想用紙の配布と収集

アンケートを取り、運営に生かす。

9 通信の作成・配布（2週間後）

参加者以外にも学びを広める。

家庭教育学級の5つの学習形態とポイント

- ①学校行事参加型：授業参観や就学時検診時に開催。参加者が集まりやすい。
- ②体験活動参加型：親子での活動。ふれあいが生まれやすい。
- ③講演会型：専門的な話を聞き、自分を振り返る機会に。
- ④子育てサロン型：少人数での交流。保護者同士のつながりが生まれやすい。
- ⑤在宅取り組み型：家庭で継続して取り組める課題で家庭教育の啓発を図る。

家庭教育学級 令和3年度の 実践

令和3年度は昨年に引き続き、コロナ禍の影響で活動は少しだけでした。

それでも、学びを止めない保護者の皆さんの頑張りは素晴らしいと思います。

小さな集まりで数回の開催でしたが、そのなかでも保護者のみなさんの交流やふれあいがあったのはよかったです。

令和3年度実施した取り組み

3校合同家庭教育学級「カヌー体験」10月24日(日) 午前10時～正午

池田小学校家庭教育学級「骨盤矯正体操」12月9日(木) 午前10時～正午

城西小学校家庭教育学級「親子陶芸教室」1月8日(土) 午前10時～正午

城西小学校家庭教育学級「アロマ石鹸作り」7月17日(土) 午前10時～正午

城西小学校家庭教育学級「親子でフォトアルバム作り」3月31日(土) 午前10時～正午

花園小学校家庭教育学級「門松づくり」12月17日(金) 午前10時～正午

花園小学校家庭教育学級「親子陶芸教室」11月21日(日) 午前9時～正午



骨盤矯正体操

先生のご指導のもとストレッチをして、リフレッシュできました。

日頃の身体の癖が歪みに繋がり激しい動きはないですが、とても体に効きました！

体の歪みが近い将来、膝や腰に大きな負担をかける不安を抱えてるので、今まで以上に意識した姿勢で過ごさなければと改めて感じました。

娘(小1)が「2人で協力が必要だよ！右～左～」と声を合わせ、一体感を感じられました。理解力が深まり、共同作業が出来る様になったんだと嬉しく思いました。



カヌー体験



アロマ石鹸作り

制作する様子に子どもの成長を感じることができました。

参加した保護者同士が打ち解けて会話出来たりしたことです。

親子で取り組むことで楽しい思い出が出来ました。